

輸出事業計画

※申請者名：イヨスイ株式会社、

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

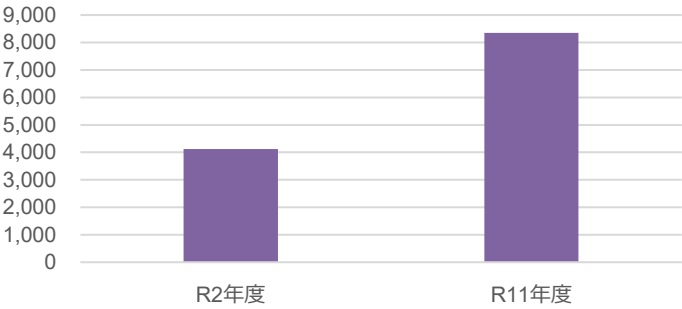
（背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

（追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等

（実態）北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

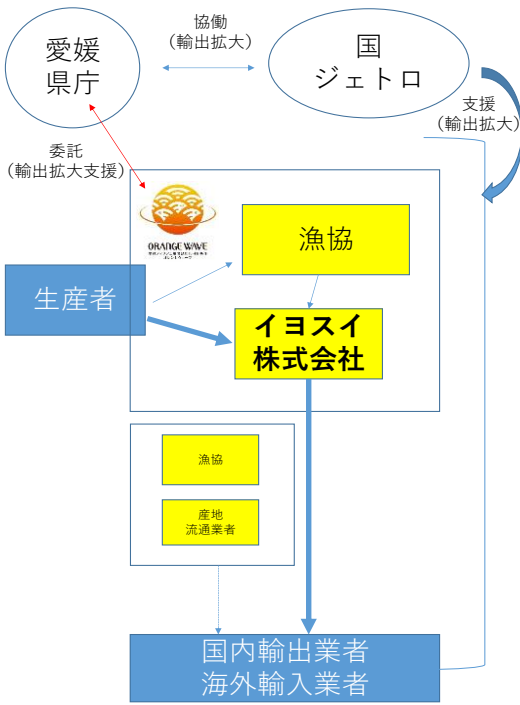
- 【課題】
- 輸出 へさらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握

イヨスイ海外輸出（百万円）



2. 輸出事業計画の取組内容

| 項目 | 対応策 |
|-------------|---|
| HACCP輸出 | ・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等 |
| 輸出障壁 | ・輸出証明書の迅速な申請体制の整備 |
| 体制整備 | ・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得 |
| 漁業認証 | ・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握 |
| 戦略商品 | ・愛育フィッシュ |
| 認知度 | ・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加 |
| ビハインド | ・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討 |
| マーケットニーズの把握 | ・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等 |



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：イヨスイ株式会社、
品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

| ぶり | 現状（令和2年度） | 目標（令和11年度） | 増減 |
|------|-------------|-------------|---------------|
| 輸出額 | 2,460,000千円 | 5,020,000千円 | + 2,560,000千円 |
| 輸出量 | 1,785,000kg | 2,280,000kg | + 495,000kg |
| 輸出先国 | 北米・韓国・中国 | 北米・韓国・中国・EU | その他 |

| まだい | 現状（令和2年度） | 目標（令和11年度） | 増減 |
|------|-------------|-------------|-------------|
| 輸出額 | 1,009,000千円 | 1,625,000千円 | + 616,000千円 |
| 輸出量 | 1,385,000kg | 1,600,000kg | + 215,000kg |
| 輸出先国 | 韓国・中国 | 韓国・中国 | |

| その他 | 現状（令和2年度） | 目標（令和11年度） | 増減 |
|------|-----------|-------------|---------------|
| 輸出額 | 657,000千円 | 1,700,000千円 | + 1,043,000千円 |
| 輸出量 | 459,000kg | 700,000kg | + 241,000kg |
| 輸出先国 | 韓国・中国 | 韓国・中国・EU | その他 |